国語

かん字の 書き（レベル6）

なまえ

□に 漢字を 書きましょう。

やりかた



形が 思い出せない ときって、
ちょっと あせるよね。
知って いる 部分に 分けると、
形が 見えて くるよ。
ゆっくりで だいじょうぶ。

雑 誌（し） ＝ 言 ＋ 志

① 読みと 前後の ことばで いみを 考える
② 知って いる 部分に 分けて 思い出す

① □（わす）れ物

② □（はら）が へる

③ □（す）てる

④ □（ほね）を おる

⑤ □（いずみ）の 水

⑥ □（まど）を あける

⑦ □（たまご）やき

⑧ □（すな）場

⑨ □（つくえ）の 上

⑩ 今□（ばん）



ご家庭・学校・療育の場でご自由にお使いください。再配布・販売はご遠慮ください。

国語

かん字の 書き（レベル6）

こたえ

□に 漢字を 書きましょう。

ここに 気を つけよう



よく 見ると、形の にた 漢字（腹と 復、泉と 線の 右）と まちがえる ことが 多いよ。
部分ごとに いみを 考えると 見分けやすいよ。とめ・はね・はらいも おてほんと くらべよう。
まちがいは、つぎに できる ための ヒントに なるよ。

① わす 忘 れ物

② はら 腹 が へる

③ す 捨 てる

④ ほね 骨 を おる

⑤ いずみ 泉 の 水

⑥ まど 窓 を あける

⑦ たまご 卵 やき

⑧ すな 砂 場

⑨ つくえ 机 の 上

⑩ 今 ばん 晩

このプリントで育つ力：形のにた漢字と見分けながら、部分に分けて思い出して書く力



ご家庭・学校・療育の場でご自由にお使いください。再配布・販売はご遠慮ください。